

福岡・近畿パーキンソン病研究の結果

高血圧、高コレステロール血症、糖尿病とパーキンソン病リスクとの関連

背景：これまでの疫学研究で高血圧、高コレステロール血症、糖尿病とパーキンソン病リスクとの関連については結果が一致しておりません。

方法：症例群は UK Parkinson's Disease Society Brain Bank のパーキンソン病診断基準に基づき発症後 6 年未満の 249 名の患者です。福岡大学、大阪市立大学、宇多野病院、京都大学、京都市立病院、九州大学、久留米大学、大牟田病院、刀根山病院、南京都病院、和歌山県立医科大学でリクルートしました。対照群は福岡大学、大阪市立大学または宇多野病院に入院中もしくは通院中の患者で、神経変性疾患と診断されていない 368 名としました。性別、年齢、居住地、喫煙、教育歴、余暇の運動、BMI と総エネルギー、ビタミン E、コーヒー及びアルコール摂取、食事のグリセミック・インデックスを補正しました。

結果：高血圧、高コレステロール血症及び糖尿病とも統計学的に有意にパーキンソン病のリスク低下と関連を認めました。

	n (%)		補正 OR (95% CI)
	症例群 (N = 249)	対照群 (N = 368)	
高血圧			
無	190 (76.3)	225 (61.1)	1.00
有	59 (23.7)	143 (38.9)	0.43 (0.29-0.64)
高コレステロール血症			
無	225 (90.4)	307 (83.4)	1.00
有	24 (9.6)	61 (16.6)	0.58 (0.33-0.97)
糖尿病			
無	239 (96.0)	329 (89.4)	1.00
有	10 (4.0)	39 (10.6)	0.38 (0.17-0.79)

結論：日本人において高血圧、高コレステロール血症、糖尿病はパーキンソン病のリスク低下と関連しているのかもしれませんが。

出典： Miyake Y, Tanaka K, Fukushima W, Sasaki S, Kiyohara C, Tsuboi Y, Yamada T, Oeda T, Miki T, Kawamura N, Sakae N, Fukuyama H, Hirota Y, Nagai M, Fukuoka Kinki Parkinson's Disease Study Group. Case-control study of risk of Parkinson's disease in relation to hypertension, hypercholesterolemia, and diabetes in Japan. J Neurol Sci. 2010; 293: 82-86.